

キャラクター名  
丹野 仁

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ハヌマーン	ワークス	アーティスト	カヴァー	
オプション	ノイマン	年齢	37	性別	男
覚醒	渴望	衝動	妄想	初期侵食率	36 %
出自	貧乏	経験	屈辱	邂逅	いいひと

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	5
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	5
精神	2	1	0			3	戦闘移動	10
社会	4	0	0			4	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	3		調達	4	
運転:			芸術: 音楽	4		知識:			情報: ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
フォーマル	
携帯電話	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
起源種	P	N		
友人	P 好意	N 疎外感		
ライバル	P 純愛	N 敵愾心		
雨城家	P 執着	N 不安		
PC1	P 好奇心	N 無関心		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 16    残り財産P: 14

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ポイズンフォッグ	2	2	メジャー	至近	範囲(選択)	シンドローム/		
効果:	このエフェクトを組み合わせたエフェクトを至近/範囲(選択)にする。							
アウトブレイク	1	6	メジャー	視界	シーン(選択)	シンドローム/リミット		
効果:	ポイズンフォッグち組み合わせ。効果をコレに変える。							
戦乙女の導き	2	2	メジャー	至近	単体	RC/自動		
効果:	メジャーアクションのダイス+Lv個、攻撃なら攻撃力+5							
中和剤	1	2	メジャー	視界	-	RC/自動		
効果:	暴走以外のバステ解除							
癒しの水	2	2	メジャー	視界	-	RC/自動		
効果:	対象のHPをLvダイス+精神 回復							
狂戦士	2	5	メジャー	視界	単体	RC/自動	80↑	
効果:	C値-1、判定ダイス+Lv*2							
戦術	4	6	セットアップ	視界	シーン	自動		
効果:	対象のラウンド中のメジャーアクションダイス+Lv個							
空の楽器	1							
効果:	任意の音を作り出せる。							
蝙蝠の耳	1							
効果:	すげえ耳が良い。							
高濃度酸素バブル	1							
効果:	疲労回復力と集中力が高まる。p79							
プロファイリング	1							
効果:	少しの情報から真実を導き出す。p95							
効果:								
効果:								
効果:								

トモリヤ名義で動画サイトやサブサイトで音楽を配信している。  
楽曲動画に使われる画像はすべて自身で描いている。  
一部のユーザーからカルト的人気を獲得しているが、顔出しなどは一切していない。  
たまに配信で音だけの生ライブなどを行う。

幼少期からコンプレックスの塊だった。  
幼馴染とともに始めた音楽だけが唯一の感情のはけ口だった。  
僕が最初に買ったギターは未だに残っている。  
ネックは反り、サウンドボードの塗装も剥げが目立つ安物のクラシックギターだが、一番の宝物である。  
幼馴染は早々に音楽を手放し今は一般的な社会人として自立し、結婚。結婚式のスピーチは見知らぬ大学の友人とかいうのがいたらしい。  
動画投稿サイトで話題になり始めたころにコンタクトをとってきた人がいた。  
彼女は音楽の作り方、ミックスの仕方、演奏のコツを聞いてきた。  
共通の音楽の話題と自分が人にものを教えるという事に優越感を抱き、簡単に彼女に傾倒していった。  
半年もしないうちに彼女は、俺よりも有名になっていた。声もかからなくなった。  
連絡も取れなくなった。  
音楽は続けている。  
音楽は変わった。  
淡いなりもしない青春に思いを馳せる事より、自身の不幸、恨み、鬱憤のゴミ溜めへと。  
曲を作りながら絵をかきながら、これしか自分にはない。  
でもなんだか最近おかし、何かが邪魔をする。  
崩れゆく塔、沈む館、死にゆく王……そんなものが勝手に背景に、人物に、主題に。  
俺の書きたかったのはこんな物だったか？